

米粉の利用推進で 米消費を拡大

問 米粉の利用推進に向けた本市の具体的な取り組みは。

答 米粉に対する支援は製粉機導入支援などの国の新たな施策もあり、これらの活用を積極的に検討していきたい。

また、平成21年度は本市独自の取り組みとして、米の生産調整を実施する米粉用米の出荷農家に対する支援をはじめ、消費者や商工関係者に対するPR活動や米粉料理講習会など、米粉の普及・消費拡大に向けた取り組みを新たに検討したい。

企業誘致へのサポート体制

問 企業誘致を推進するには利用可能な土地の情報提供が必要だ。本市ではどのような体制をとっているのか。

答 市内の公的企業団地は岡山リサーチパークを除きほぼ立地が決定している状況だ。

このため企業立地推進課の職員が、民有地で空いている土地はないか、現地調査等をして一覧表を作成するとともに、立地を希望する企業から

の問い合わせに対しては、宅地建物取引業者等からの情報を提供する仕組みづくりを行っている。

都市交通戦略 20年度中の策定を目指す

問 都市交通戦略策定作業の実施状況と今後の予定は。

答 戦略策定は既存の鉄道やバスなどの利便性向上と岡山に適した交通手段として、人と環境に優しいLRTや自転車に着目して検討することが必要だ。

現在パブリックコメントに示す案を作成するため、戦略目標の「都心と地域拠点との連携軸の強化」や「都心内での回遊性向上」に向けた具体的方策を検討しており、平成20年度中の計画策定を目指している。

北長瀬地区の区画整理事業

問 北長瀬地区の区画整理は住民説明会の意見等を受け、どのように進めていくのか。また今後どのような方法で合意を図っていくのか。

答 平成20年7月下旬から11月中旬までに二十回の地元説

明会を開催し、コスト縮減を前提とした新しい区画整理の取り組みや考え方を説明した。地元住民からはいろいろな意見が出ており、事業化に向けて、今後、さらに協議を重ねていきたい。

ファジアーノ岡山への支援

問 ファジアーノ岡山が全国的に有名になれば、経済効果や市民意識の高揚につながると思うが、市としての支援は。

答 現在、チーム情報の発信や、PR活動、練習場の優先貸出等の支援を行っている。また灘崎町総合公園多目的



夜間照明設備が待たれる
灘崎町総合公園多目的広場

広場に夜間照明設備を設置する予定で、完成後は市民と共にファジアーノ岡山にも活用してもらいたい。

引き続き情報発信やPR活動に努め、さらなる練習環境の充実に向けて、どのような支援ができるか検討したい。

公明党

国民健康保険料 値上げのない運営を

問 国民健康保険料の値上げをしないための中長期的な取り組みが必要では。

答 財政健全化のため、まずは収納率向上や医療費の適正化にできる限り努力したい。その上で、国民健康保険の抱えている諸課題改善のため、国民健康保険財政対策の充実、拡大等を国に要望していきたい。

平成20年度開始の特定検診・特定保健指導で生活習慣病の予防・解消に努め、21年度からはジェネリック医薬品（安価な後発薬）の広報も開始するなど中長期的に効果のある取り組みも行いたい。

本市の情報化 現状調査と人材育成

問 情報化の現状調査と、総合的な点検ができる技術を持った人材育成が必要では。

答 情報通信に関する総合的な技術を持った人材育成は非常に重要な課題だ。

平成21年度からは運用コストの削減や、より効率的な事務処理を目指し、市税・国民健康保険等の基幹業務システムや庁内LANシステムの再点検に着手したい。

一連の見直し作業の中で専門的な情報技術を持つ人材の継続的かつ有効な育成方法も検討したい。

岡山ERの構築で 新しい救急医療体制に

問 (仮称)岡山総合医療センター構想が目指している岡山ERはどのようなものか。

答 岡山ERは、二十四時間三百六十五日すべての救急患者の初期診療ができるよう、ER型救急医の三交代の体制を整え、重症度や傷病の種類にかかわらず、救急医がすべての救急患者を初期診療する北米型救急医療モデルを想定